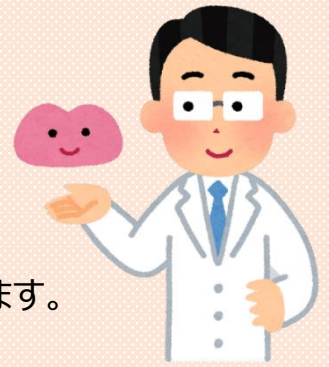


◆ 認知症専門医による監修 ◆

認知症脳ドックのご案内



2025年、65歳以上の高齢者の5人に1人は認知症になると言われています。
認知症は早期発見・早期対応がとても重要です。
認知症脳ドックを受診して、認知症の適切な治療や、予防のきっかけにしませんか？

検査対象：50歳～85歳までの方

検査料金：85,800円（税込） ※消費税率10%

検査内容：身体測定 / 頭部MRI・MRA / VSRAD / 頸部エコー / 心電図 /
動脈硬化検査 / 尿検査 / 血液検査（血液一般、酸化ストレス・抗酸化力測定、
甲状腺ホルモン・梅毒、ビタミンB1・B12） / 認知機能検査（MMSE）

有料オプション： A P O E 遺伝子検査 ￥16500円（税込）
認知機能検査（MoCAJ・RBMT） ￥11000円（税込）
認知症専門医による医療相談 ￥11000円（税込）

共催：医療法人 和（なごみ）クリニック
監修・診断：院長 徳山まどか先生（日本認知症学会 専門医）

★新検査項目

◆酸化ストレス・抗酸化力測定とは？

酸化ストレス・抗酸化力を測定する血液検査です。酸化とは、「錆びる」ことです。りんごを切って空気に触れさせると切り口が茶色く変色しますが、それは私たちの体の中でも起こり、酸化ストレスが高いと老化が早まるといわれています。脳は老化の影響を受けやすく、酸化ストレスを軽減し、抗酸化力を高めることで、**認知症の予防**につながります。

◆ V S R A Dとは？

M R I 検査を用いて記憶の形成・保持・再生をつかさどる“海馬傍回”付近の脳の萎縮度合いを診断する検査です。アルツハイマー認知症では、海馬傍回付近の萎縮が最も早期にみられるのが特徴です。コンピューターで正常脳のデータと照合・解析することによって、海馬傍回付近の**萎縮度合いを客観的に評価**します。

◆ 認知機能検査とは？

記憶や注意力など日常生活に必要な認知機能を測定する検査です。各々15分から30分程度の口頭で行う質問検査で、認知症鑑別のための簡易な検査(MMSE)、認知症の前段階である軽度認知障害(MCI)鑑別に有用な検査(MoCAJ)、物語や約束を覚えて数十分後に想起する詳細な記憶検査(RBMT)を用いて、**認知機能の低下**を評価することができます。

◆ A P O E 検査とは？

遺伝子型を調べて**アルツハイマー型認知症発症のリスクを判定**する血液検査です。A P O E 遺伝子のε4の有無とアルツハイマー病発生の関係を調べると、ε4を全く持たない遺伝子に対してε4を1つないし2つ持つ方の発症リスクは3倍～12倍に高くなるといわれています。